東京、2025 年 11 月 13 日

第二回 国際フォーラムを FLOWRA が開催

国内技術開発・産業化に資する、多国間枠組みの結成を発表

浮体式洋上風力技術研究組合（FLOWRA）は、2025 年 10 月 28 日、東京・大手町プレイス カンファレンス&ホールにて「第二回 国際フォーラム」を開催し、ノルウェー・デンマーク・EU・英国・オランダ等の大使他の大使館、官公庁・自治体、そして国内外の連携機関・産業界・学術界の関係者の皆さま、計 400 名強の方々にご参加頂きました。世界各地で始まりつつある浮体式洋上風力発電の大規模商用開発に向けて、今回掲げたテーマは「協調の重要性の再確認と具体的な実行案の明示」でした。

弊組合は、国際市場で通用する日本の強みを活かすべく、浮体式洋上風力発電開発とその産業化を牽引するため欧州の有力機関と連携して互恵的な取り組みを深化させていますが、今回の国際フォーラムでは更に各連携機関と共に「The Moonshot」と呼ぶ多国間枠組みを結成し、国際的な各種枠組み造りに積極的に関与することを打ち出し、公表しました。これによって、浮体式洋上風力の技術的課題解決の推進と、国内の浮体式関連サプライチェーンなどの産業化を、世界全体の動きと連動させることが可能となるものと考えています。

フォーラムにおいては、EEZ における洋上風力発電開発を可能とする法制度整備に着手するとともに浮体式洋上風力発電の開発目標数値や戦略を明示した日本に対する強い期待が、壇上でも会場内でも幾度となく示されました。また、当日および開催後も、多くの参加者から浮体式洋上風力発電の商用開発・産業化に向けて具体的な発展イメージを持つことが出来たという感想が寄せられています。ここに改めて、本フォーラムの開催・運営にご協力いただいたご来賓、ご来場頂いた皆さま、他関係各位に深く御礼申し上げます。FLOWRA は、産学官・国内外パートナーとの協調を一層強化し、カーボンニュートラル社会の一日も早い実現と国内産業競争力の強化に貢献して参ります。

開催概要

名称：第 2 回 FLOWRA 国際フォーラム
日時：2025 年 10 月 28 日
会場：大手町プレイス カンファレンス&ホール
主催：浮体式洋上風力技術研究組合（FLOWRA）
参加：大使以下の各国大使館、官公庁・産業界・学術界・海外連携機関から約 400 名が参加

（以下、来賓との記念写真と、開催次第概要）

写真 1：

大使館・資源エネルギー庁・国土交通省港湾局・同海事局からの来賓、ClassNK 会長、主要海外連携 5 機関代表、FLOWRA 組合企業代表、および FLOWRA 理事長・副理事長（計 37 名）

写真 2：

大使等大使館・資源エネルギー庁・国土交通省港湾局・同海事局からの来賓、FLOWRA 組合企業代表、および FLOWRA 理事長・副理事長（計 31 名）

写真 3（左から）

浮体式洋上風力技術研究組合 副理事長 広瀬路子

駐日オランダ大使館商務官　Queeny Inaldo 様

駐日英国臨時代理大使　Emil Levendoğlu 様

駐日デンマーク王国大使　Jarl Frijs-Madsen 閣下

国土交通省海事局海洋・環境政策課長　河合崇様

国土交通省港湾局海洋・環境課長　馬場智様

浮体式洋上風力技術研究組合 理事長 寺﨑正勝

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長　小林大和様

経済産業省資源エネルギー庁風力事業推進室長　福岡功慶様

駐日ノルウェー大使　Kristin IGLUM 閣下

駐日 EU 臨時代理大使　Thomas Gnocchi 様

浮体式洋上風力技術研究組合 副理事長　井上慎介

写真４（左から）

DI Danish Energy – Head of Department for Green Energy Export、Hans Peter Slente 様

浮体式洋上風力技術研究組合　理事長、寺﨑正勝

France Energy Marine – CEO、Herveline Gaborieau 様

Home of Holand Wind Energy – Managing Director、Arjen Schutten 様

Innovation Norway – Energy and Technology Counsellor、Per Christer LUND 様

ORE Catapult – Director of Offshore Wind Development and Operations、Andrew Macdonald 様

＜開催次第概要＞

まず、開会挨拶を申し上げた寺﨑理事長から「共通基盤技術の開発を通じて市場育成・発展を牽引する“Accelerator”として、国内外で連携と実装を加速する」との決意表明が、引き続いて事業概要を説明した井上副理事長から、過去一年半の足跡を振り返りつつ国内技術開発と国際連携の両輪で市場育成・発展を牽引する具体的な活動内容の説明がありました。国内技術開発ということでは、NEDO/共通基盤技術開発の会員 21 社を中核に、関連メーカー・施工会社・認証機関・大学など約 76 社／約 250 名規模の体制での推進、及び、NEDO/風況観測手法の研究開始が報告されました。

その後、来賓である菅会長（日本海事協会）と Gunnar Herzig 代表（World Forum Offshore Wind）によるご挨拶を経て、英国・デンマーク・ノルウェー・オランダ・フランスにおいて浮体式洋上風力発電開発の技術開発・産業振興を牽引する連携機関（ORE Catapult、DI Danish Energy、Innovation Norway、Home of Holand Wind Energy、France Energy Marine）の紹介と FLOWRA がそれら機関と立ち上げる The Moonshot という国際連携の枠組みの具体的な活動内容を紹介する最初のパネルディスカッションを行いました。このパネルディスカッションによって、浮体式洋上風力発電の大規模商用化実現に、FLOWRA の展開している国際連携が如何に効いてくるのかを理解できたという参加者の声が多くありました。

そこから次に、福岡室長（資源エネルギー庁風力事業推進室）による網羅的かつ判り易い基調講演があり、そして吉村名誉教授・室長（東京大学浮体式洋上風力エネルギーと関連技術国際連携研究機構“UT-FloWIND”）、野口理事長（浮体式洋上風力建設システム技術研究組合 “FLOWCON”）と寺崎理事長による二つめのパネルディスカッションがあり、協調領域で具体的に動くにはどうしたら良いのかという課題解決に向けて、それぞれの観点から、そして互いに連携していく意思表明をしながら、深い議論を重ねました。浮体式洋上風力発電を正しく発展させることに日々取り組んでいる登壇者からの忌憚ない発言は多くの参加者の共感を呼び、開催日以降も数多くのコメントが寄せられています。

更に来賓である資源エネルギー庁の小林部長、国土交通省港湾局の馬場課長、駐日ノルウェー大使 Kristin IGLUM 閣下、駐日デンマーク王国大使 Jarl Frijs-Madsen 閣下、駐日 EU 臨時代理大使 Thomas Gnocchi 様、駐日英国臨時代理大使 Emil Levendoğlu 様、駐日オランダ大使館商務官 Queeny Inaldo 様の皆さまから来賓ご挨拶があり、最後に閉会挨拶を申し上げた広瀬副理事長からお越し頂いた皆さまに対する御礼と、今後の活動展開への組合としての力強い意思表明がありました。閉会挨拶後のレセプションは、各国大使以下の大使館の皆さんも参加された華やかかつ賑やかなもので、国際フォーラムの熱気をまとった参加者皆が話題尽きることなく交流されていました。

連絡先

浮体式洋上風力技術研究組合（FLOWRA）
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-13
アーバンネット内幸町ビル 3F CROSSCOOP 内
E-Mail : info@flowra.or.jp
Web: https://flowra.or.jp/
LinkedIn: https://www.linkedin.com/company/flowrajapan/